

家庭用ガスの制御に関するスパットは、人々の日常生活を混乱させている。

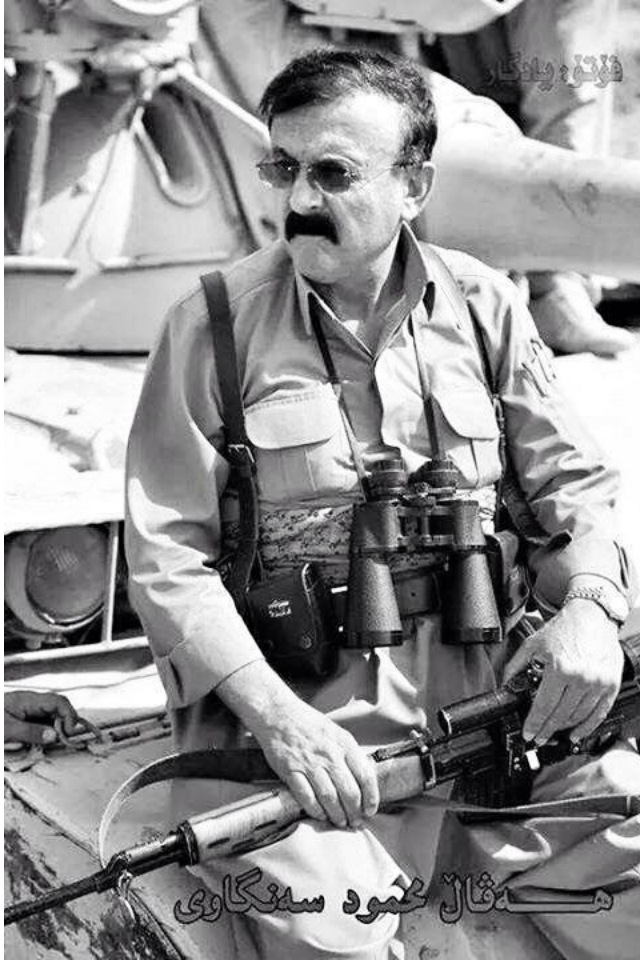
クルディスタン民主党(KDP)が支配するエルビルとドウホクの都市では、ガス価格はここ数週間で2倍になった。クルディスタン地方政府(KRG)のガスニーズは国内生産によって満たされ、主にチャムチャマルのガスと石油が豊富な地域から来ている。



チャムチャマルとスレイマニヤは、いずれもクルディスタン愛国同盟(PUK)の影響を受けている。これらの分野の主要事業は、PUK 関連会社によって制御されます。その中で、シェイク・ジャンギの息子とマフムード・サンガウイ。



後列左上:クバド・タラバニ、前列左:バフル・タラバニ、前列右
シェイク・ジャンギ(ジャラル・タラバニの兄)の息子
レポートによると、ドーホク州、エルビル州を基盤とするKDPと
スレイマニ州を基盤とする PUK でも世襲制の問題がある。



マフムード・サンガウイ

以前は、家庭用ガスを配布する権利は、マフムード・サンガウイとシェイク・ジャンギの息子たちと提携している会社が所有していた。彼の部下が、麻薬取引の容疑で、エルビルで逮捕され自殺した。その後、その権利は別の会社に与えられた。その結果、ガス輸送トラックに対する最近の攻撃につながり、エルビルとドーホクで価格が上昇した。麻薬取引についてKDPの陰謀説もあるが、麻薬取引をしたことは、イランとの関係も

深く、革命防衛隊との関係もないとは言えない。マフムード・サンガウィが私兵組織を持って管理する地域は、イラン国境と産油地帯のキルクークにもまたがる。KDP は、親米であり、PUK は、中央政府やイランとの関係もある。麻薬根絶と石油利権でエル革命防衛隊の収入源を断つという意味では、米国が背後にあるかもしれない。